

## 第 11 次宮津市高齢者保健福祉計画・第 10 期宮津市介護保険事業計画の策定に向けたアンケート調査の実施について

### 1 計画について

「宮津市高齢者保健福祉計画・宮津市介護保険事業計画」は、介護・予防・生活支援などの施策を一体的なものとして、高齢者の自立支援と健康づくりや介護予防の推進を図るため、3年に1度策定しています。

次期計画は、令和9年度から令和11年度の3年間を期間として策定します。

3年間の介護給付費も見込み、介護保険料も本計画において検討・決定していきます。

### 2 計画の方向性について

- 国では現在、次期介護保険制度の改正に向けた議論が行われています。
- 2040年に向けて、人口減少のスピードが地域によって異なり人口構造も大きく変わっていく中、大きく分けて以下5つのテーマで検討が進められています。

#### 次期制度改正に向けた主な検討事項

##### 1. 地域包括ケアシステムの推進

- ・ 2040年に向けて地域包括ケアシステムをさらに深化・推進していくことが重要

##### 2. 認知症施策の推進・地域共生社会の実現

- ・ 認知症基本法等を踏まえ施策を推進していくことや、ケアマネジャー等の専門職・地域包括支援センター等による相談体制の確保が重要

##### 3. 介護予防・健康づくりの推進

- ・ 通いの場等の充実、健康づくりを高齢者保健事業と一体的に取り組む

##### 4. 保険者機能の強化

- ・ 介護サービスの基盤整備と地域支援事業を併せてどのように制度運営するかが重要

##### 5. 持続可能な制度の構築、介護人材確保・職場環境改善

- ・ 介護人材の確保・定着、職場環境改善、生産性向上を通じた業務の効率化を図っていくことが重要。テクノロジー導入による業務効率化、生産性向上もカギ。

令和6年12月第116回社会保障審議会介護保険部会における議論より

- 現在の第10次宮津市高齢者保健福祉計画・第9期宮津市介護保険事業計画（令和6年度～令和8年度）では、「みんながともにつながり支え合い 高齢者も幸せに暮らせるまち みやづ」を基本理念として、一人ひとりが生きがいや役割を持ち、住み慣れた地域でいきいきと尊厳をもって暮らすことのできる地域共生社会の実現を目指して、地域包括ケアシステムを構築していくための高齢者福祉施策の一層の推進と介護サービスの提供体制の維持充実を図ってきました。
- 次期計画「第11次宮津市高齢者保健福祉計画・第10期宮津市介護保険事業計画」は、これまでの本市の取組と、国の制度改正を踏まえて策定します。

### 3 アンケート調査について

#### (1) 調査目的

「第 11 次宮津市高齢者保健福祉計画・第 10 期宮津市介護保険事業計画」の策定のための基礎資料を作成することを目的とし、2 種類の調査を実施する。

#### (2) 調査の目的

##### ア 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

要介護状態になるリスクの発生状況とそのリスクに影響を与える日常生活の状況を把握し、地域の課題を特定する。

##### イ 在宅介護実態調査

介護サービスの利用と要介護者の在宅生活の継続、介護者の就労継続との関係性を分析する。

#### (3) 調査対象者、調査期間等

	ア 介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査	イ 在宅介護実態調査
対象者	宮津市の 65 歳以上で、要介護 1 から 5 の認定を受けていない者 【一般高齢者、総合事業対象者、 要支援 1・2】	市内の在宅で生活している要支援、要介護認定を受けている者(及びその介護する家族)
対象者数(発送数)	約 5,900 人	約 800 人
回答者数(見込)	約 4,100 人	約 440 人
調査期間(見込)	12 月上旬～12 月下旬	12 月上旬～1 月上旬
発送・回収方法	郵送	郵送(+認定調査員による訪問調査時のフォローアップ)

#### (4) 調査の実施

(株)ぎょうせいに業務委託して実施。

#### (参考：前回のアンケート回収状況)

- ・調査方法：介護予防・日常生活圏域ニーズ調査  
郵送配布、郵送回収  
在宅介護実態調査  
郵送配布、郵送回収及び訪問聞き取り調査
- ・調査期間：介護予防・日常生活圏域ニーズ調査  
令和 5 年 1 月 26 日～2 月 15 日  
在宅介護実態調査  
令和 5 年 1 月 26 日～2 月 15 日

#### ・回収状況

	発送数	有効回答数	有効回答率
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	5,933 件	3,908 件	65.9%
在宅介護実態調査	787 件	426 件	54.1%